

相鉄本線瀬谷駅南口の再開発工事の仮囲いに、地域の小学生とアーティストとの協働作品『みんなで咲かせる手形アート』で国際園芸博覧会をPR！

2027年の横浜における国際園芸博覧会の開催に向け、開催地を学区に含む旭区と瀬谷区の小学校児童と横浜のアーティストが協働した作品『みんなで咲かせる手形アート』を、相鉄本線瀬谷駅南口の再開発ビル建設工事現場のご協力により仮囲いに掲出しました。

1 設置時期

令和3年3月15日（月）：施行工事
～4月30日（金）（予定）

2 設置場所

相鉄本線瀬谷駅南口第1地区
再開発ビル建設工事仮囲い
相鉄本線瀬谷駅南口から徒歩2分

3 取組内容

- ・市立上川井小学校（旭区）と市立上瀬谷小学校（瀬谷区）の全児童の手形で咲く大輪の花
開催地を学区に含む両校の全学年児童 560人が、横浜市出身のアーティスト大辻 紗羅（おおつじ さら）さんと一緒に、手形を押して大きな花をかたどるアート作品を作りました。
（実施日：2月26日 上川井小学校、3月1日・2日 上瀬谷小学校）



・作品コンセプトは「多様性のパレット Palette of Diversity」（大辻さん談）

国際園芸博覧会のテーマ「幸せを創る明日の風景」をイメージしました。多様な花々や生き物が共存する上瀬谷を描いたイラストレーションに、国際園芸博覧会で世界中から多種多様な花や緑や人が集まり、自然と共生する豊かな未来が開くことを、次代を担う子どもたちの手形で表現しました。子どもたちの手によって咲かせた、色とりどりの8つの花が象徴的な作品です。



2027 国際園芸博覧会 ～世界の花、横浜で咲かせよう～

国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催します。

メインテーマ：幸せを創る明日の風景

開催期間：2027年3月～9月

開催場所：旧上瀬谷通信施設（旭区・瀬谷区）

◆国際園芸博覧会の詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/>

<裏面あり>

・『みんなで咲かせる手形アート』の制作に参加した児童たちの感想・コメント

Q：参加した感想を教えてください。

A：「楽しかったです。『みんなで咲かせる手形アート』が未来にきれいに残ったり、歴史とかに残ったりするとすごく嬉しいです。」

(上川井小学校6年生 澤邊 壱侍(さわべ かずま)さん)

「楽しかったです。みんなで押した手が(いろいろな人たちに)見られると思うとちょっと緊張した。(手形アート作品が)飾られたら、家族と一緒に見に行きたいです。」

(上瀬谷小学校5年生 細野 詩羽(ほその うたは)さん)

Q：国際園芸博覧会の説明を聞いたときの感想を教えてください。

A：「世界中のいろいろなお花とか、見たことがないお花を見るのがすごく楽しみです。」

(上川井小学校2年生 渡辺 桃子(わたなべ ももこ)さん)

「お花を育てたり、見たりするのが好きなので、国際園芸博覧会に行って、たくさんのお花を見てみたいと思いました。」

(上瀬谷小学校6年生 岩崎 莉美(いわさき りみ)さん)

Q：みんなで一緒に作品を作ってみてどうでしたか。

A：「今年はコロナウイルスの関係で、去年の卒業生よりもあまり思い出を作れなかったからいい思い出になりました。」(上川井小学校6年生 澤邊 壱侍(さわべ かずま)さん)「一人一人の手形で大きなお花を咲かせるところがすごく面白いと思いました。」

(上瀬谷小学校6年生 岩崎 莉美(いわさき りみ)さん)

・参加小学校からのコメント

上川井小学校 山崎 真紀子(やまざき まきこ)校長先生



今年度は、コロナ禍にあって校外での活動や講師を迎えての学習ができませんでした。そのため、アーティストと一緒に活動できるというのは、子どもたちにとってよい学習機会になるのではと思いました。また、自分たちの地域が世界のお客様を迎える博覧会の舞台になることを知って、改めて地域のよさや自然の豊かさを実感し、大切にしていきたいという気持ちが高まるといいと思います。

上瀬谷小学校 大竹 貴子(おおたけ たかこ)校長先生



今回の『みんなで咲かせる手形アート』をすることによって「本当に6年後に自分たちの街で国際園芸博覧会というすごいことが行われるのだな。」ということ子どもたちにまず実感してもらいたいと心から思いました。将来、環境に優しいまちづくりや、この上瀬谷がやっていくことに興味を持ってもらい、また自分たちもそこに参加していきたいという意欲を持ってくれるといいと思います。

・監修アーティストプロフィール



大辻 紗羅(おおつじ さら)さん

横浜市出身。2017年東海大学芸術学研究科造型芸術専攻(大学院)修了。横浜市内のイベントマーケティング会社にてプロモーションの制作を行いながら、アートワークも継続して展開。イラストレーション、動画、写真、立体など様々な表現を用い、見たもの経験したものを伝えることがライフワークのひとつ。

お問合せ先

都市整備局国際園芸博覧会推進課 担当課長 後藤 勝 Tel 045-225-8928